学校番号	１００４

令和８年度　（学）国際教養

教科	（学）国際教養	科目	(学)韓国朝鮮語文化研究	単位数	２単位	年次	２・３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

韓国の言語と文化に触れることで世界観を広げることを目標とします。韓国は日本と関わりの深い国であり、歴史的にも文化的にも影響の大きな国です。身近な国のことを学ぶことで日本という国のことを考えるきっかけにしてください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】 ハングル文字を習得する。韓国語の基本的な文法の知識や、簡単な会話の技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 韓国語を用いて様々な内容を表現する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に韓国の生活様式、食文化、歴史、美術についての理解を深めるとともに、日本と韓国との関わり方を考える態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・韓国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるともに、これらの知識を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによるアウトプットやコミュニケーションの場面に応じて、適切に活用できる技能を身に付けている。	・コミュニケーションを行う状況や目的に応じて、日常的な話題、時事問題や社会問題について、韓国語で情報や考えを理解し、また相手に伝える事ができる。	・韓国語の背景にある文化に対する理解を深め、相手を尊重し、配慮と思いやりを忘れず、自分の発信する情報に責任を持ちながら、主体的・自律的に韓国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	1〜3	韓国・朝鮮語の特徴	a: 韓国語の音声の基本的な特徴を理解している。韓国語の文法を身につけ、簡単な文章を作成することができる。 b: 韓国の文化や習慣について，情報や自分の考えなどを，論理の構成や展開を工夫して書いて伝えている。 c: 積極的に韓国語を使おうとする姿勢を見せるとともに、韓国の文化を理解しようとしている。	ワークシート	ワークシート レポート	ワークシート レポート 行動観察
	4〜17	基本母音 1〜3 複合母音 1〜2 パッチム 発音の変化	a:音読により、ハングルが表すものを理解している b:日本語に含まれている韓国語由来のものを説明でいる。 c: 日韓の歴史的経緯を踏まえて、韓国の文化を理解しようとしている。	ワークシート	ワークシート レポート	ワークシート レポート 行動観察
2学期	18〜20	指定詞　1〜2	a:日常会話が理解できる b: 幼児語と成人語の違いに留意して会話できる c: 現在の韓国が置かれている状況を理解したうえで、日本における在日朝鮮人の問題を説明できる。	ワークシート	ワークシート レポート	ワークシート レポート 行動観察
	21	挨拶・自己紹介	a:寸劇台本を利用し会話できる b:韓国における地域差を説明できる c:古代日本における渡来人の影響を説明することができる。	ワークシート	ワークシート レポート	ワークシート レポート 行動観察
	22〜27	韓数字・固有数字 会話体（指定詞・存在詞）	a:日韓の違いを念頭に置いた寸劇台本を作ることができる。 b:韓国における中国の影響を説明できる c:江戸時代と、明治時代以降の日韓関係を説明することができる。			
3学期	28〜30	動詞・形容詞	a:街頭での会話を試みることができる b: 日本文化との相違点を説明できる c: 積極的に韓国語を使おうとする姿勢を見せるとともに、韓国の文化を理解しようとしている	ワークシート	ワークシート レポート	ワークシート レポート

	31〜32	会話体（動詞・形容詞）	a:交渉を伴う会話を試みることができる b: 日本文化の源流としての韓国文化を説明できる c: 積極的に韓国語を使おうとする姿勢を見せるとともに、韓国の文化を理解しようとしている			行動観察
	33	過去形	a:韓国文化に対する自分の考えを説明できる b:日韓の学生の考え方の違いを説明できる c: 積極的に韓国語を使おうとする姿勢を見せるとともに、韓国の文化を理解しようとしている	ワークシート	ワークシート レポート	ワークシート レポート 行動観察

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度